

Magazine of Teikyo
Alternative Life

[フレア]

Flair



最近、なにしてる？

photograph: KAZUHARU IGARASHI text: KENTARO MATSUI



留学先で積極的に話しかけ、興味のあることに挑戦！

私のキャンパスアイテム



鞆には、フランス語版の「星の王子さま」。通学の電車で電子辞書を引きながら自分流に翻訳している。手帳は大学から配布されたもの。「構内図や事務手続きの案内も書かれていて便利」と手放せない様子。腕には大学入学祝いに従兄弟からプレゼントされた腕時計を巻き、時間を大切に過ごしている。

外国語学部 外国語学科フランス語コース3年 | MICHIRU AKIBA | 秋葉みちるさん

外国語学部外国語学科3年の秋葉みちるさん。フランス語を専攻し、2年生のときにフランスへ留学したが、「最初は速い会話が聞き取れず、ショックでした」と振り返る。寮生に積極的にフランス語で話しかけ、公園では現地のフランス人に「発音を教えてください」と声をかけ、会話を高めた。「外国語学部では今年度の新入生から『全員留学制度』が始まりますが、語学以外にも興味のあることに挑戦してほしいです。人としても成長できますから。私は街のスタジオを探し、大好きなバレエを踊りました」と後輩にアドバイス。

いま、フランス語検定2級取得に向けて、「MELOCで借った参考書で勉強中です」と笑顔。また、留学中、フランス人と接する機会の重要性を感じ、「将来、日本に来ている留学生と日本人との語学を通じた交流イベントを仕事のかたわら開催したいと考えています」と夢を語る。

あのニュースのこぼれ話。

illustration: AYAKA KITATANI

03

Society

どうなる？ 世界。



ブレグジット（英国のEU離脱問題）とトランプ大統領誕生に揺れた昨年は、グローバル化に対するアレルギー反応がポピュリズム*1というかたちで噴出した1年でした。続く本年は日本がこうした世界の流れから取り残されたことが明白になった1年です。

正確には極右極左勢力の台頭という世界的な流れが日本でも台頭した結果、この国は本来30年前に着手すべき改革を達成しないまま劣化55年体制*2に回帰してしまっています。小池劇場の破綻は「平成」という改革プロジェクトが空回りし、この国は民主主義を機能させることもグローバル・情報化に対応することもできなかった現実を突きつけるものでしょう。

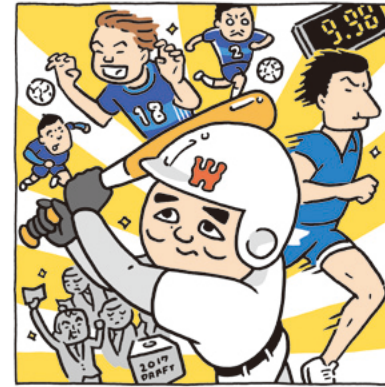
宇野常寛（うのつねひろ）／評論家、批評誌「PLANETS」編集長、京都精華大学や立教大学の講師など、活動は多岐にわたる。著書に「母性のディストピア」（集英社）など。

*1 一般大衆の利益や権利、願望、不安や恐れを利用し、彼らの支持を得て、既存の体制側や知識人などに対決しようとする政治思想・姿勢のこと。
*2 保守勢力である自由民主党と、革新勢力である日本社会党の2大政党が議会で対立する政治体制（＝55年体制）が崩壊したこと。

02

Sports

スポーツ新世代。



2017年。スポーツの若き才能がひしめきました。野球の清宮幸太郎、卓球の平野美宇、競泳の池江璃花子……。大学4年の桐生祥秀は日本人選手として初めて陸上100mで10秒を切りました。デジタルネイティブ世代の躍動はとくに始まっているのです。

2018年。2月に韓国の平昌（ピョンチャン）で冬季五輪が開かれます。そのときには23歳、フィギュアスケートの羽生結弦による氷上の一瞬が地球規模で共有されるでしょう。連覇達成なら、同年のサッカーW杯、19年のラグビーW杯日本大会、20年の東京五輪への勢いをもたらす号砲となる。同じ時代を歩む同じ世代は、それは幸福なのです。

藤島大（ふじしまだい）／スポーツライター。ラグビーのW杯を全大会取材。著書にラグビーエッセーの集大成、『人類のためだ。』（鉄筆）など。

01

Technology

記念モデル。



2017年9月、建設されたばかりのApple本社でiPhoneの新モデルが発表されました。

なかでも「iPhone X」は、ホームボタンを廃し、狭額縁設計されたディスプレイが注目を集めました。さらに顔認証で瞬間的に画面ロックを解除でき、ワイヤレス充電も可能です。カメラの「ポートレートモード」機能は、iPhone Xのみフロントカメラでも利用できます。センサーにより顔の動きと同期する12種類の「アニ文字」機能もXのみです。

Appleの強みはハードとソフトの開発を自社で行っている点。iPhone Xは、Appleが新たな未来へスタートを切ったことが予見できる端末です。

鈴木朋子（すずきともこ）／ITジャーナリスト。スマホやSNSの最新事情に詳しい。著書に「親子で学ぶ スマホとネットを安心に使う本」（技術評論社）など。

Apple「iPhone X」を発売。

What's Work? ①

学祭で、ちょっと「働く」が見えました。

板橋キャンパスの学園祭「第6回帝桜祭」が今秋、開催された。
授業の成果発表や模擬店の出店は、学生にとって大きな「仕事」。
みんなで準備し、帝桜祭を迎えた学生たちの、働く姿を追いました!



おどろきの声...



1.緊張感ある救助のデモンストレーションを披露した、救急救命士コースの学生たち。2.医療技術学部看護学科は、来場者の身長体重や血圧の測定、アルコールパッチテストなど健康チェックを実施。3.正門前の広場には27の模擬店が出店。「いかがですか!」と学生の元気のいい声が響く。4.薬物治療学研究室は盛り付けやレジンなど役割分担しながら、320食用意したうどんを販売。5.焼きそばを販売するフットサル部。

第

6回帝桜祭「当日、板橋キャンパスの広場は多くの模擬店で賑わっていた。そのひとつ、薬物治療学研究室が販売する「薬治うどん」は、だしの利いた関西風うどんで、注文にも手際よく対応。薬学部薬学科4年生の伊藤慎之介さんは、「食材の買い出しや整理券づくりなど、協力して準備したことでコミュニケーションが深まりました」と、ともに模擬店をつくりあげる意義を実感していた。

広場でデモンストレーションを行ったのは、医療技術学部スポーツ医療学科救急救命士コースの学生たち。交通事故現場に駆けつけた救急隊が、ハンドマイクによる隊長の指示のもと運転手を救助するという想定だ。素早い流れで救出が完了すると、大勢の見学者から拍手が起こった。隊長を務めた3年生の向井智哉さんは、「救急救命士は人命を救う重要な仕事。多くの方に知ってほしいです」と、イベントの成功を喜んだ。

大学棟内では企画展示が開催され、医療技術学部看護学科は「健康チェック」を実施。2年生の藤崎舞さんは、「一般来場者の血圧を測り、基準値などを説明することは、将来に向けてのいい経験になります」と笑顔で測定。サービスする相手に心から喜んでもらうという働くことの基本姿勢を、帝桜祭から学んでいた。



興味のあることを追求!

What's Work?

特集 働くってなんだろう?

ちょっと気になる、仕事や就職のこと。堅苦しく考えるのではなく、
いま、みんなが楽しんでやっていることが将来につながったら、とっても素敵。
さまざまなスタイルで働く先輩たちの言葉や、「働く」を先行体験した学祭の様子から、自分の理想の「働く」を探してみよう。

photograph: KENJI NAKATA(p04-05, p09), KENTARO OSHIO(p06-08), MINA SOMA(p10), MAKOTO KUJIRAOKA(p12-13), TAKESHI ABE(p12-13) text: KENTARO MATSUI(p04-07, p09, p13), SATOKO NAKANO(p08, p12), RIE OCHI(p10, p13), TETSU TAKASUKA(p12) chart: AmakiSisters Inc.(p11) illustration: AYAKA KITATANI(p12-13)



やり続けることが大事



「好き」を追求する



仕事の継承も見据えながら



働くってなんだろう？

やりがいがいっぱい！



Q.委員長としての心構えは？
A.委員長全員の顔と名前を覚える！

薬学部 薬学科 3年
上原早織さん



Q.芸能部署で大切なことは？
A.来場者への気遣いです。

薬学部 薬学科 3年
太田綾香さん



Q.模擬店の運営に必要なのは？
A.出店者との事前打ち合わせ。

医療技術学部 臨床検査学科 3年
小嶋千穂さん



Q.なぜ実行委員会に入ったの？
A.他学科の学生と交流したくて。

医療技術学部 スポーツ医療学科
救急救命士コース 2年 各務哲平さん



Q.部署長として何を学んだ？
A.仕事の振り分け方です。

医療技術学部 診療放射線学科 3年
小泉真弦さん

Q & A

実行委員のみなさんへ一問一答！

自分の役割を果たすことが、 将来の仕事に生かされる！

後輩を育てる楽しさ

3局・9部署にわかれる帝桜祭の実行委員会。集まった5人は、部署長経験者を含む中心的メンバーだ。やりがいは「後輩を育てること」と口を揃える。医療技術学部臨床検査学科3年で、スタンプ部署長経験者の小嶋千穂さんは、「スタンプラリーの企画は1年生中心の仕事。口出しは控えつつ、進捗は尋ねる。その距離の取り方に気をつけました」と話す。その結果「実習道具をモチーフにしたユニークなスタンプが完成しました」と笑顔で振り返る。一方、医療技術学部診療放射線学科3年で、広報部署長経験者の小泉真弦さんは、「商店街でのポスター掲出を1年生に頼みましたが、店舗に訪れたのが定休日の多い土曜。代わりに2年生

が平日に訪問することになりました」と指示することの難しさを痛感した。翌年への継承を見据えた後輩の育成は簡単ではないが、「経験を積んで成長する姿を見ると、大変な仕事も楽しくなります」と5人は話す。

働く価値や喜びを！

企業との交渉も重要な仕事だ。協賛金を募る渉外部署に所属する医療技術学部スポーツ医療学科2年の各務哲平さんは、「一人20社ほどに電話で協賛を依頼しますが、大事な一言業違い。後輩にはしっかりと教えています」とのこと。芸能部署長を務める薬学部薬学科3年の太田綾香さんは、「芸能事務所と委員会をつなぐ仲介業者とやり取りをします。ステージの組み方から契約書の書き方

まで、相談しながら進めます」と企業と交渉するなかで、仕事のルールや働く意義を学び取っている。

委員会の仕事は、社会へ出たときにどう役立つだろうか？ 将来は薬剤師になり、在宅医療に携わりたいと話す薬学部薬学科3年の委員長 上原早織さんは、「在宅医療を受ける一人暮らしの患者さんは、誰かに寂しさを打ち明けたらという気持ちをお持ちかもしれません。それを、定期的に訪れる薬剤師がどう受け止めるか。95名の委員の悩みや相談を受け止めながら、よい方向へ導こうと努める委員長の役割を将来に生かせたらと思います」と答えた。

この5名だけでなく委員の全員が、帝桜祭というビッグプロジェクトをつくりあげる経験から、働くことの価値や喜びを得ているに違いない。

What's Work? ②

帝桜祭実行委員のみなさん、 働くって、楽しいですか？

帝桜祭実行委員会はひとつの大きな会社のよう。板橋キャンパスで開催される帝桜祭（学園祭）という年に一度のビッグプロジェクトを成功に導こうと頑張る、実行委員たちの働きぶりを紹介します！

大変だからこそ楽しいよね



働きがい
やりがい

JOB: **高校教諭**

NAME: **森田真央さん**

文学部日本文化学科 2017 年卒。都立田園調布高等学校国語科教諭。特技は、かるた。大学 2 年時、「クイーン位戦東日本予選」で準優勝に。



大事なのは、一人ひとりに向き合うこと。

東 京都立田園調布高等学校の国語の先生になったばかりの森田真央さん。「漢字検定に受かった生徒と喜び合ったり、『髪の毛、切った?』と声をかけたり。授業以外にも生徒とコミュニケーションを取るように努めています」

生徒との交流を大事にするのは、教育実習の後、「私のような目立たない生徒に話しかけてくれてうれしかった」という手紙をもらったから。「一人ひとりに向き合う大切さに気づかされました」

大学時代は、教職センターや「教師への夢 応援プログラム」に積極的に参加し、教員採用面接や小論文の技術を磨いた。「受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をと生徒に言っていますが、それは社会人 1 年生の私にも必要な姿勢だと実感しています」

子どものころからの夢、先生になって奮闘中だ。

1. この日の授業は 1 年生の現代文で、吉野弘の詩について討論。「生徒がディスカッションする時間を設け、生徒目線での発見が生まれるような授業をめざしています」。2. 詩について生徒の考えや疑問が書かれた用紙。3. 生徒の質問に答える森田先生。

JOB: **ピッツァ職人**

NAME: **徳山志英さん**

経済学部観光経営学科 2004 年卒。ピッツェリア「ダ ジョルジョ」オーナー。ナポリピッツァ職人世界選手権日本大会で優勝も。

歴史あるナポリピッツァを日本で継承。



「お 客様の目の前で手際よくピッツァを焼く。そして、食べた人の『おいしい』という笑顔を間近で見られる。ヒーローみたいでした」

徳山志英さんは、ナポリピッツァ職人をめざしたきっかけをそう語る。イタリアが好きだった彼は、帝京大学卒業後、不動産会社勤務を経てイタリアンレストランに就職。約 1 年間働き、修業のためにナポリを訪れたときに受けた衝撃が、いまの彼の原点だ。修業先のピッツェリアで 1 日 500 枚ものピッツァを焼く日々を経験し、帰国後に日本で『ダ ジョルジョ』をオープン。いまは「300 年近く続くナポリピッツァを日本で継承していきたい」と話す。「ピッツァ職人が減少傾向にあるナポリで『ピッツァを残したい』と話す人たちの思いに触れ、自分も使命感が湧きました」。学生時代から好奇心が強かった徳山さん。初めて「手に職を」と思えた仕事との出会いは、やはり行動することで得られたのだ。

与えられた職場で何を生み、何を学ぶか。

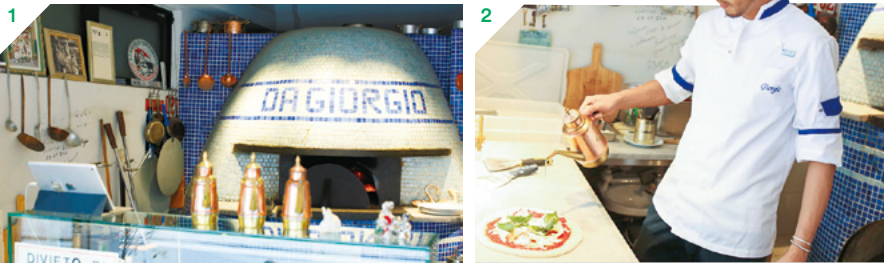
洋 服が大好きだった川東大介さん。4 年生のときにユニテッドアローズの採用試験を受け不合格となったが、あきらめずに販売員のアルバイトを始めた。2 年間ほど勤め、働きぶりが認められ社員販売員として採用。いま、販売促進部部長として活躍している。「“なりたい自分になる”という目標も大切ですが、その前に、自分に“何ができるか”を考えるべき。会社は、新入社員にやってほしい仕事があるから採用するのです。与えられた職場で、誰と仕事をし、何を感じ、何を生み、何を与え、何を学ぶかという姿勢で働くなかで、尊敬する人と出会い、仕事の意味を考え、“なりたい自分”をめざすようになるのだと思います」

まず、足元の仕事に一生懸命取り組むことで、“自分”が見えてくるのでは、と川東さんは語る。



1. プレスルームで来年春夏の新商品となるサンプルの洋服をチェックする川東さん。2. 打ち合わせのときに浮かんだアイデアを書き留めたメモ帳を見直す。3. シーズン毎のカタログ制作や、オンラインストアのサイト制作の方向性を決めるのも川東さんの仕事だ。

What's Work? ③
卒業生のみなさんに、「働く」を聞きました。
帝京大学を卒業した先輩たちの働く姿を覗きに行ったら……。キャリアも仕事を見つけるまでの道のりも、それぞれの個性にあふれていました。



1. ナポリの伝説の窯職人が作った、現在日本に 10 基しかない窯。蓄熱性が断然いい。
2. マルゲリータの材料はバジル以外すべてナポリのものを使用し、現地の味を再現する。

Ideal Job Chart

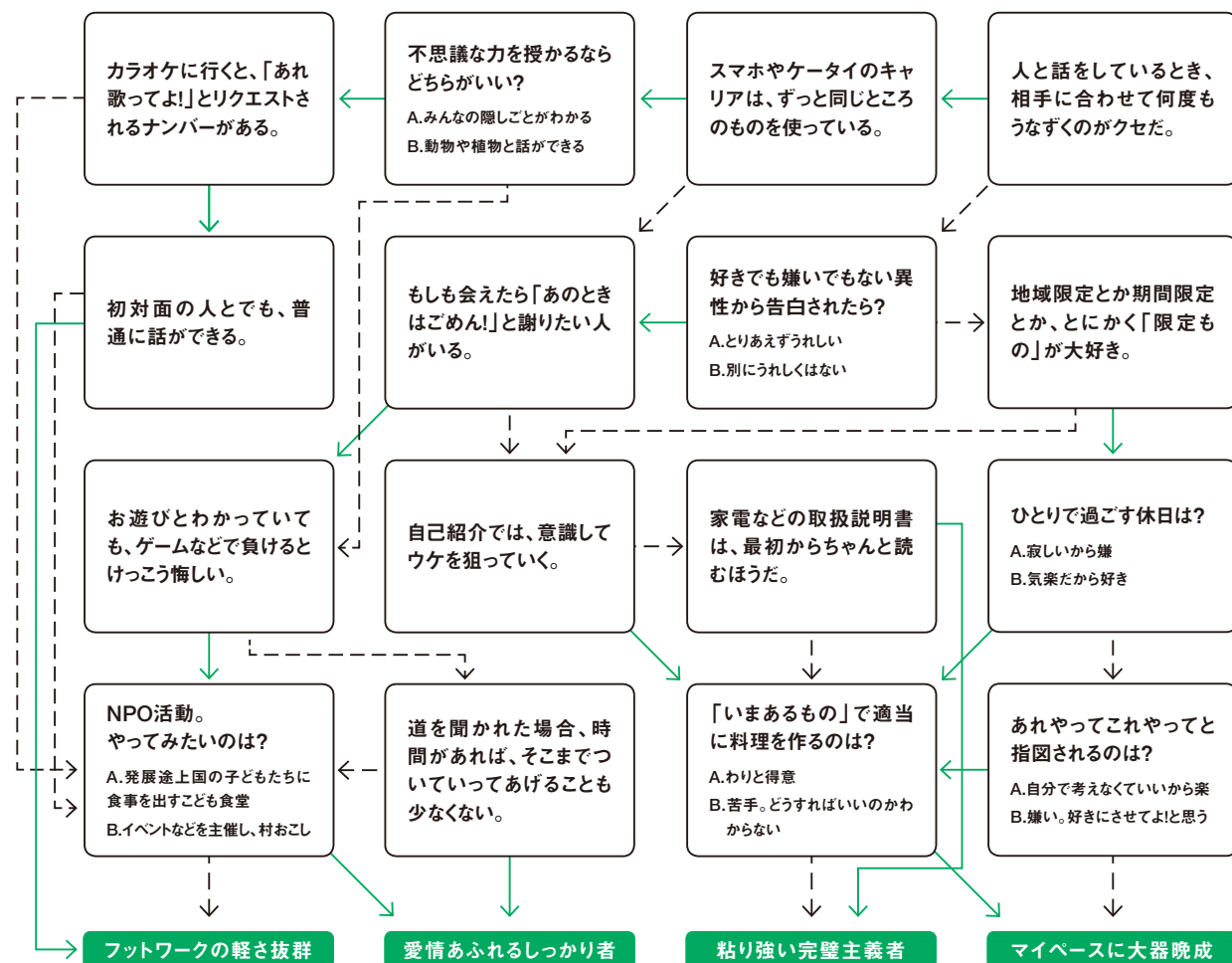
夢を探す!「私の天職ってなに!？」

そもそも自分が何に向いているかわからない人は多いはず。

天職チャートで、まずは自分自身の適性を知るところから始めよう!

START!

YES or A NO or B



こんなことも!

おしごと
基本のき

5Sを身につけよう!

- 整理 要るものと要らないものを区別し、要らないものを捨てること。
- 整頓 要るものをいつでも使えるように、置場を決めて管理すること。
- 清掃 職場を清掃し、汚れる場所を見つけて汚れない工夫をすること。
- 清潔 整理・整頓・清掃を維持しきれいな状態を保つこと。
- しつけ 職場のルールや規律を守り、習慣づけること。

「5S」を続けることで、無理・ムラ・無駄の発生を抑え、品質・コスト・納期・安全性を高めることができるのです。そして作業が効率的になり、チーム力が高まります。学生のうちから課題やゼミ、卒業論文などを、学生の仕事と捉えて提出期限を守ることが、社会人になるための予行練習と言えるでしょう。

教えてくれた人

面地誠二さん / 株式会社チーム・ワーカー代表取締役。製造業ならびに非製造部門において、トヨタ生産方式を基本としたオリジナルの改善手法を確立。2002年コンサルティング会社「チーム・ワーカー」を設立。著書に「非製造部門の業務改善」などがある。http://kaisen-pro55.net



働くってなんだろう?

What's Work? ④

しまおさん、「働く」ってどういうことですか?

イラストレーターやエッセイスト、ラジオ出演など、幅広い分野で活躍している、しまおまほさん。独自の道を切り開いてきた方法や仕事について伺いました。

マストアイテム!



メモ帳と手帳は、打ち合わせやスケジュール管理に欠かせない。

好きなことを続けることで得意分野が仕事になる。

大学在学中に漫画家デビューを果たして以降、活躍の場を広げてきたしまおまほさん。独自の道に進むために重要だったのはアウトプットすることだったという。

「漫画を冊子にして配ったり、昔からアイデアを発表するのが好きでした。何事も外に出さないと評価してもらえません。完璧さを求めて諦めるよりも、まずは完成させて発表することが大切。恥ずかしいとか、そういうプライドって他人には関係のないことだし、失敗しても次に生かせばいいと思うんです」

依頼される仕事に挑戦し、得意分野を見つけてきた、しまおさん。仕事をするのはやりがいであると同時に、新しい世界を広げ、風通しをよくしてくれる存在でもある。

「仕事は私生活にはない発見がある場。仕事をする中で、よどみがちな気持ちが循環します。自信にもつながるし、健全な精神を保つためにも働いているのになって思います」

しまおまほ Maho Shimao
多摩美術大学卒業。1997年に漫画『女子高生ゴリコ』でデビュー。現在はイラストや文筆業の他、ラジオ出演など活動は多岐にわたる。著書に『マイリトル世田谷』(SPACE SHOWER BOOKS) など。



Teikyo Career Support Stories

キャリアサポで叶える未来！

進路を考えることは将来を考えること。キャリアサポを利用したらどんなメリットがあるの？

各キャンパスでみんなの人生サポートをしてくれる担当者の方々に、それぞれの強みについて伺いました！



キャリアサポート
センター 課長
川澄 真さん

Story ③

**マンツーマン指導で希望進路へ。
見た目まで変わってカッコよく！**

@宇都宮キャンパス

宇 都宮キャンパスの特長は、学科担当制による個別指導。職員は担当した学生が内定を得るまで支援し、たとえ卒業までに内定が決まらない場合も最後まで責任を持ってフォローします。

以前、卒業研究にも就職活動にも身が入っていなかった学生がいたのですが、何度もカウンセリングする

ことで、将来の目標が定まって前向きに。何事にも真剣に取り組むようになった結果、希望進路の内定を得られたということがありました。

就職はゴールではなく、その人の一生にかかわることだからこそ、徹底的にサポートするのが我々の役目。就職内定率はほぼ100%という実績を誇っています。



●宇都宮キャンパス キャリアサポートセンター

履歴書の書き方、面接、ビジネスマナーなど、多彩な就職試験対策講座を実施。SPIとTOEICの受験料無料化等、きめ細やかにバックアップ。250社の人事担当者を招く学内合同企業説明会にも力を入れている。



キャリアサポート
センター チームリーダー
大葉勇一さん

Story ①

**「やりたいことが見つからない」
→憧れを現実に変えられた！**

@八王子キャンパス

八 王子キャンパスの特長は、1年次から仕事に対する意識を醸成できる45ものキャリア教育科目があること。キャリアアドバイザーが授業に出向き、積極的に学生と交流を図ることで就職相談がしやすい雰囲気をつくっています。センターでは相談だけでなく、さまざまな経歴や得意分野を持ったアドバイザーからプロの

アドバイスが聞けるのもうれしいところ。学部が多岐にわたることから、公務員や航空、観光、金融業界など、広く夢を叶える学生が後を絶ちません。近年は少人数制授業の効果もあり、企業側から「リーダーシップを発揮する学生が多い」という評判もいただいています。



●八王子キャンパス キャリアサポートセンター

面談デスクのレイアウトも特長のひとつ。仕切りつきのカウンターのような閉塞感がなく、隣の学生の顔も死角になりプライバシーも守られる。9月からは、Webから面談の予約が可能に。



福岡医療技術学部
理学療法学科長・
作業療法学科長代行
福田 猛教授

Story ④

**「実習の心得」を身につけ、
臨床実習先での就職を決定！**

@福岡キャンパス

少 子高齢化の進展などで医療環境が大きく変化していく中、医療現場では知識や技術だけではなく、社会性や倫理観といった「人間力」が強く求められています。

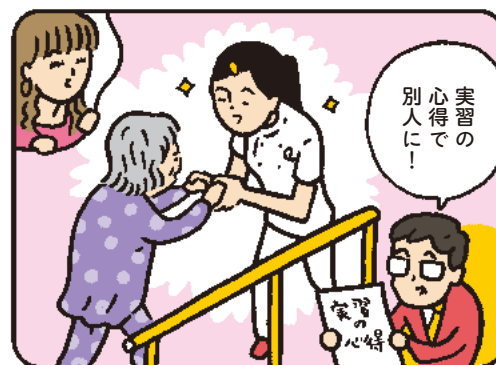
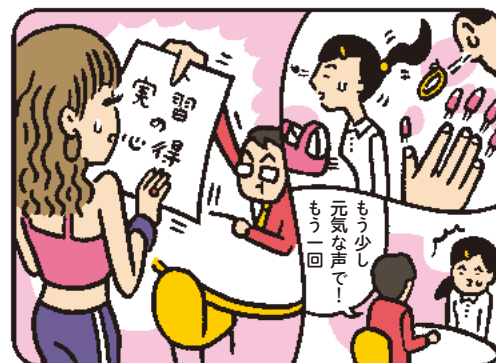
福岡キャンパスでは、コミュニケーション能力やホスピタリティー（接客）に重点を置き、患者さんと接するにふさわしい身だしなみや態度・

言動を厳しく指導しています。その一つが「実習の心得」であり、これは臨床実習から就職活動、そして医療現場まで通じる大切な心得なのです。これを基本として、学生がより良い方向性を見出せるように、学生との面談を通して交流を深めながら教職員が一体となって就職支援を行っています。



●福岡キャンパス 学生支援センター

「学生支援センター」でキャリアサポートを実施。本年度から職員を7名に増員、国家試験対策小委員会と就職委員会にも職員が参加し、各学科との連携・調整を図りながらサポートを行う。



学生課（就職担当）
キャリア・カウンセラー
遠山泰彦さん

Story ②

**就活の先まで見据えたアドバイス
で一生モノの仕事を見つけた！**

@板橋キャンパス

医 療系の学部を集約した板橋キャンパスでは、多くの学生が、具体的な進路を想定して勉学に励んでいます。

しかし、就職するにあたり、目先の目標に気を取られて、5年後、10年後を見据えた長期的な視点に欠けてしまうケースも見られます。これから経験することは、すべて患者さん

のためになること。その気持ちを忘れずに、長い目で自分の将来を考えてもらえるように就職のアドバイスをしています。

これからの時代、安定を求めるよりも、着実にスキルを身につける人間のほうが強い。そのために、信念を持って自分の選んだ道を進んでほしいと思います。



●板橋キャンパス キャリアサポートセンター

医療系学部を対象とした、キャリアサポートを実施。年間で4000件以上の相談を受け付けている。学生の将来を見据えた親身なアドバイスにより、高い就職率と定着率を実現している。



卒業生ものがたり。

今回の主人公



徳山志英 さん（「ダ・ジョルジョ」オーナー）

卒業生の人生を作家・高橋源一郎さんが紡いで、架空の「ものがたり」に。今回は、ナポリピッツァ職人、徳山志英さん（p8）のストーリー。
illustration: JIN KITAMURA

窯を愛せ、ピッツァを愛せ、 そして、生きることを愛せ 高橋源一郎

トクヤマは窯の前にいる。この世で、彼がいちばん好きな場所だ。窯の中では、生きもののように炎が踊っている。窯が温まるまで、2時間くらい。でも、世界でいちばん早く温まる窯だ。「いつも、ここでこうやってピッツァが焼き上がるのを待っているんです。皿や壺や茶碗を窯に入れて、焼き上がるのを待っている職人たちのことをときどき考えますよ。彼らも、ぼくたちと同じように、経験だけで時間と熱を調整して、その『瞬間』を待っていたんです」

「そういって、トクヤマは、また窯に視線を落とした。愛おしむようなその視線は、まるで恋人に向けられるもののように見えた。

「これは、伝説の窯職人が作ってくれた世界一の窯なんです。ナポリに行ったら、ピッツァ職人はみんな、これが世界一だつていいですよ。ぜんぜんちがう。それから、ピッツァだつてほんとにシンプルです。小麦粉、塩、酵母、水しか使わない。でも、食べるとまるでちがう」トクヤマは、さつき焼いたばかりのピッツァの切れ端を渡してくれた。

「どうぞ」

わたしは香ばしいピッツァの断片を口の中に放りこんだ。なんという味！小麦の味と香りが一瞬で口の中に広がる。

「美味しいでしょう？それは、イタリア、いや、ナポリそのものの味なんです。その小麦粉は、日本のものよりずつと精製が粗い。だからこそ、本来の小麦の旨みが残っているんです。日本で作られるものは、みんな、素晴らしい技術で見た目も美しいものばかり。でも、たとえ

トクヤマは遠くを見るような目つきになった。「ぼくが教わった師匠は、ナポリのピッツァ作りの一族でした。口癖が『とにかく、愛せ、愛せ、窯を愛せ、ピッツァを愛せ、自分の職業を愛せ』。すごいでしょう。やつぱりイタリア人ですよね、その熱さは、『朝来たら、窯と会話しろ、生地と会話しろ。おれは、朝来たら、窯に話しかけるんだ』ですからね。でも、それはおかしいことじゃない。農家の人たちも、昔は、米に話しかけていたのかもしれない。陶芸家は、壺が焼き上がるのを待ちながら、きつと壺に話しかけているんでしょう。なにかを作る

「そうです。ピッツァとはなんの関係もない。観光ビジネス学科、いまは、観光経営学科っていうんですね、そこにいました。将来のことはいつも考えていました。いろんなものに挑戦したいと思って、海外にも行つたし、外国人の友だちともよく遊びました。どこかに行く、だれかに会う、友だちになる。その友だちの友だちと知り合う。そして、また新しい場所に行く。どこかに自分のまだ知らない素晴らしい世界があるんじゃないかって、いつも思っていました。いまでも、そこは変わっていないと思います。不動産会社に入ったのは、どんな時代にも残る職業だと思つたからです。でも、入ってみるとちがつた。何千万円もする建て売り住宅を営業して売るんです。でも、なんだかちがう。そんな気がしました。ぼくのやりたかつたのは、ほんとうにこれだつたんだろうかって。なので、そこを辞めて宅建の勉強をして、他の不動産会社に行こうと思つていたら、『ナポリピッツァ』

に出会つたというわけです」

出合いは、どこで待っているかわからない。何千万円もする住宅ではなく、数百円のピッツァを売る職人たちが、トクヤマには、ほんとうにカッコよく見えた。

「『なんだ、この職業は！』つて思つたんです。キッチンの中にいると何をしているかわからないでしょう。でも、ぼくが行つたときには、坊主頭でピアスを開けて刺青だらけの人が、客の目の前でバンバン焼いてた。そこに、テイクアウトのお客さんが群がって、『チーズ抜いて』とか『焼き加減はこうして』つていろいろ言っているんです。なんだか、ものすごく幸福そうに見えました。職人もお客も。ただ売るだけじゃない。ただピッツァとお金が交換されているんじゃない。それ以上のなにかがあるんだ。そう思つたんです。そのとき、『これだ！』つて閃いた。運命だつて思います。イタリアのことは、前から好きだつたし」

トクヤマは遠くを見るような目つきになった。「ぼくが教わった師匠は、ナポリのピッツァ作りの一族でした。口癖が『とにかく、愛せ、愛せ、窯を愛せ、ピッツァを愛せ、自分の職業を愛せ』。すごいでしょう。やつぱりイタリア人ですよね、その熱さは、『朝来たら、窯と会話しろ、生地と会話しろ。おれは、朝来たら、窯に話しかけるんだ』ですからね。でも、それはおかしいことじゃない。農家の人たちも、昔は、米に話しかけていたのかもしれない。陶芸家は、壺が焼き上がるのを待ちながら、きつと壺に話しかけているんでしょう。なにかを作る

ということでは、どんな職業でも、同じところがあるのかもしれない。ぼくは、ピッツァを作りながら、そんなことを考えるようになりました。いま、大学で勉強している学生のみなさんは、たぶん不安な気持ちを抱えていると思います。ぼくもそうだったから。いつい自分なをやればいいのか。なにができるんだろうって、悩む。もし相談されたら、ぼくは、『海外に行つてみればいい』と答えると思います。日本という島国にしていると、わからなくなってしまう。自分の可能性も。なんというか、日本にしていると便利すぎて、自分で工夫することがなくなつてしまうような気がするんです。外に出て初めて、自分になにが足りないかがわかると思うんです」

最後に、わたしはトクヤマに、こう訊ねた。あなたにとつて、仕事とはなんですか？

「深く考えたことはありません。好きだからやっていた。それだけです。なんでもそうでしょう？好きになるのに理由はありません。誰かに恋するようになるのですよ。好きになる。だから、すべてを知りたくなる。そして、自分のすべてを捧げても惜しくないと思える。それが、たまたま、ぼくにはナポリピッツァだつた。そして、偶然、それが職業になつたんです。もしかしたら、それ以上、幸せなことではないのかもしれないですね」

トクヤマは微笑んだ。優しく微笑むトクヤマの視線の先には、揺らめく炎を抱えた窯があつた。それは、ただの窯ではなかつた。そのことだけは、わたしにもわかつたのである。

みんなの人生も一つの「ものがたり」です



書いた人はこんな人！
たかはし・げんいちろう／小説家、文学者。1951年、広島県生まれ。81年『さようなら、ギャングたち』で群像新人賞優秀作を受賞しデビュー。『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞受賞など。著書他多数。12月には『ぼくたちはこの国をこんなふうに愛することに決めた』（集英社新書）を刊行。

◎板橋キャンパス

スマートフォンで撮影する初心者から、一眼レフを駆使する
上級者まで、みんなで撮影会に参加し、写真の楽しさを共有する。
学生生活の貴重な時間を切り取った写真は、一生の宝物に。



部員数は男女合計で100人以上。月に1回、撮影スポットを決めて、撮影会を行う。お花見撮影、お台場撮影、夏合宿が恒例行事。帝桜祭では、写真展を開催する。

活動は月に1回。撮影スポットを選んでみんなで集まり、撮影会を行う。参加人数は毎回20人程度で、多いときは50人も参加者が集まる。お台場で夕焼けを撮影するのは、毎年の恒例。ほかにも、鎌倉やスカイツリー周辺、春先は桜の名所など、撮影スポットはバラエティ豊かだ。

「自由参加なので来たいときに来てもらえばいい。特にテーマを決めず、興味を引いた被写体を撮ってもらうようにしているので、人によって写真に個性が表れるのもとても面白いところです。また、撮影の合間に観光したり、食べ歩きをしたり、撮影後にはみんなで打ち上げをするなど、写真を撮る以外の楽しみもあります」と市川さん。そうして撮影会で撮った写真は、毎年10月に行われる帝校祭の写真展で展示される。部員それぞれに自信の1枚を提出してもらい、作品として発表するのだ。またより大きな発表の場として、東京周辺の医療系大学写真部合同サークル「MPA」が開催する写真展に応募する部員もいるという。

「二度と訪れない時間を切り取って宝物にできることが写真の魅力」と語る市川さん。学生時代のかげえのない瞬間を残すべく、部員たちはシャッターを切り続ける。

医学部 薬学部 医療技術学部 視能矯正学科、看護学科、診療放射線学科（臨床検査学科）の学生たちで構成される板橋キャンパス写真部。創部からわずかに数年で、総勢百名を超える大所帯となっている。人気の背景には、近年のデジタルカメラやスマートフォン の進歩や、SNS の発達により、写真がよりなじみ深いものになったこともあるのだろう。「本格的な一眼レフを使って撮る人 もいれば、コンパクトデジカメやスマートフォンなどで撮る人もいます。高価なカメラが必須ということもありませんし、写真に対する深い知識や技術が必要なかわけでもありません。写真を楽しんで撮ることを第一目的にしています」と部長を務める医学部医学科4年の市川友裕さんは語る。

やっぱり仲間が、一番です。

photograph TAKESHI ABE text TETSU TAKASUKA

ワクワク企画が満載です。

photograph KENTARO OSHIO
text KENTARO MATSUI

第30回ワークショップ

自己PR動画を作ろう！

就活で提出するのはエントリーシート。それに加えていま、自己PR動画を活用する企業も現れてきた。

そこで今回4人の学生が、初めての自己PR動画撮影に挑戦しました！

教えてくれたのは
立花未由さん
Miyu Tachibana

学生支援や企業の採用コンサルティングを行う「カケハシ スカイソリューションズ」マーケティング室所属。女子就活webマガジン「シュウクリーム」編集長。

← 上手に撮るには？

自己PR動画のワークショップに参加したのは4人。講師である「カケハシスカイソリューションズ」の立花未由さんは早速、「ペアを組んで、自己PR動画を撮りましょう」と指示。4人は突然の課題に困惑したが、とりあえずはペアになり、iPadでお互いを撮影。「予備知識のない状態でどれだけ自分を表現できるか。話す内容も時間も制限はないので、就職したい企業を想定し、自分を存分にPRしてください」と立花さん。4人は思い思いの方法で、撮影した。

まずはイキナリ撮ってみよう。



いかに心をつかむか。



福岡キャンパス入試課

江口 範昭さん
Noriaki Eguchi

熊本県荒尾市出身。熊本学園大学経済学部卒業後、6年間ほど一般企業の営業職を務めた。そのスキルを生かして学生募集に携わりたいと2013年に入職。帝京大学の魅力を伝えて歩く、多忙な毎日を送る。

TEIKYO PEOPLE.

NO.05

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

あのひとに聞きました。

photograph: TAKESHI ABE text: KENTARO MATSUI

入試課のお仕事って？



在学生とともに、キャンパスの魅力を発信。

「今週は月曜から木曜まで毎日、高校を訪問しました」と大学の公用車から降りてきたのは、福岡キャンパス入試課の江口範昭さん。九州エリアを中心に高校の進路指導部を訪ね、オープンキャンパスの案内や卒業生の就職内定状況の報告など情報を交換しながら、進学のアドバイスをを行う。「進路指導部の先生と信頼関係を築けるよう、常に心がけています」

また、オープンキャンパスや進学相談会では、高校生から直接相談を受ける。「授業内容や取得できる資格など学科の特徴はもちろん、入試制度に関する相談者ひとりひとりに合わせた情報も伝えます」

オープンキャンパスでは在学生ともかわる。「準備や運営をサポートしてくれたり、学科ごとに体験ブースを設置してくれたり、とても助かっています。ほかにも、センター試験会場の設営や、福岡キャンパスが制作するパンフレットの撮影にも協力してくれて、頼もしい限りです」と笑顔で話す江口さん。在学生とともに、福岡キャンパスの魅力を高校生に発信している。



“おばあちゃん子”だった江口さん。就職したときに祖母からネクタイをプレゼントされた。「いわゆる勝負ネクタイ的なもの。今日はやるぞ!という気分のときにつけます」



高校訪問や外回りが多い入試課の仕事。「名刺は相手先とつながりをつくり、信頼関係を築くために欠かせない必須アイテムです」と、江口さんもたくさんの名刺を交換している。



初任給で買った腕時計。当時は釣りが趣味で、釣り具ブランドと時計ブランドがコラボしてつくったこの時計に一目惚れして購入。「10年間、ほぼ毎日つけています」と笑顔。

大切にしているモノは？

STEP 2 ポイントをつかむ。

撮影を終えた4人は、お互いの動画を見返しながら、「表情をつくるのが難しい」「ジェスチャーを交えたほうが印象に残りそう」「自信を持って喋らない」と感想を述べ合い、改善点を挙げた。

そこで立花さんは、印象深い自己PR動画をつくるためのポイントを3つ挙げた。それは、「企業との相性の良さ」と自分の成長力」「冒頭でポイントを伝える」「想いのあるエピソードを添える」こと。「これを踏まえ、相手に伝わりやすく順序立てて話すことで、採用担当者の心をつかめるはず」とアドバイスした。

1 企業と自分の相性
その企業が自分に何を求めているか、自分はこの企業にどう役立つかという「企業との相性の良さ」をアピールする。

2 冒頭が肝心!
採用担当者は、自分のことをまったく知らない。まず、自分の実績や将来の夢などを提示して、冒頭で心をつかむことが肝心。

3 想いのあるエピソード
冒頭で述べた内容について、実績を上げるために自分のどんな資質を生かしたかなど、想いのあるエピソードを語る。



お手本動画鑑賞中!



棒読みする

ただ立ったまま、セリフを棒読みしても伝わらない。表情やジェスチャーに動きを加えながら、感情豊かに語りかけよう。

キョロキョロする

キョロキョロしていると自信なさげに見える。レンズの向こうに採用担当者がいると想像して、カメラ目線の笑顔で話そう。

声が小さい

声が小さいと、内向的でやる気の薄い人物だと思われがち。恥ずかしがらず、聞き取りやすい声で堂々と自分を主張しよう。

話が長い

自己PR動画は1分前後が程良い長さ。あれもこれもと詰め込み過ぎて長くなると、最後まで見てもらえなくなるかも。

STEP 3 内容を熟考する。

自己PR動画のポイントを教わった4人。別のペアを組み、再度、収録に挑戦。その前に、カメラの前で話す内容を時間をかけて考えた。「1回目にいきなり撮って、自己PR動画は事前の準備が大事だということに気づいてもらえたと思います。話す内容を書き出し、頭に入れ、気持ちを込めて話せるよう準備してから臨みましょう。3回、4回と繰り返すうちに完成度も上がるはず」と、立花さんは準備の大切さを強調した。

HINT! もっと気持ちを伝えるには!?



自分のキャッチコピーを!

自分のセールスポイントを、端的な言葉で。「一言で言うと、ほふく前進の男です」など、冒頭から人物に興味を抱かせる工夫を。



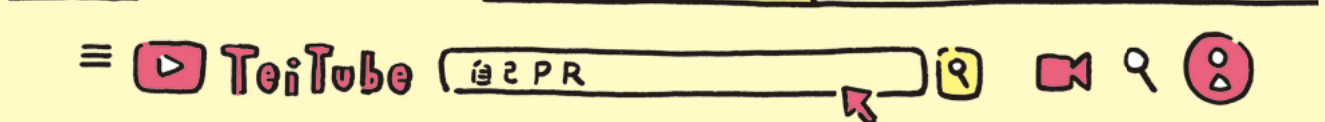
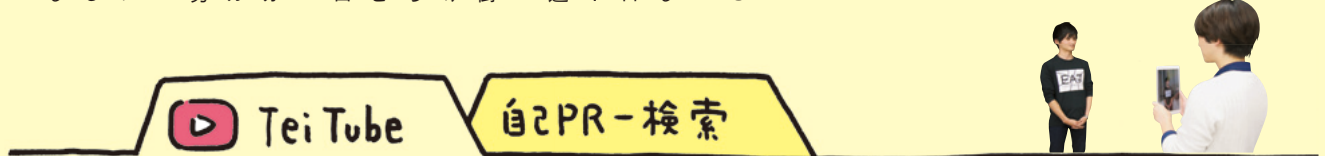
部活の一コマを披露する

後輩に協力してもらって、部活動の一コマを撮影。元気の良さをアピールしつつ、後輩に慕われている人物であることも伝えられる。

STEP 4 さあ、2回目。撮影しよう!

さあ、2回目。撮影しよう!

自己PR動画のポイントを押さえて、話す内容を自分で、あるいは相談しながら考え、紙に書き出した4人。それを頭に入れて、2回目の撮影に挑戦した。薬学部薬学科1年の保科陽智さんは、製薬会社に入ることを想定して撮影。「写真部に入って写真を撮るなかで、学校や街で出会う小さな出来事にも目を向けるようになりました。子どものころからピアノを習い、手先が器用だとも言われます。御社が求める、緻密な仕事には自信があるつもりです」と表現。立花さんは、「企業と自分の相性の良さをアピールしつつ、カメラから目を離さず語りかけた姿勢も良かった」と高評価。



実際に撮ってみてどうでしたか?



自己PR動画は、「伝える力」が試されます。

医学部医学科4年 市川友裕さん

動画を区切ったり、フリップを使ったり、エントリーシートよりも自由度が高いと感じました。逆に「伝える力」が試されそうです。



企業に対する一生懸命な想いが伝わりそう。

薬学部薬学科4年 吉澤慶祐さん

自己PR動画はエントリーシートに比べ、自分の「人となり」はもちろん、企業に対する一生懸命な想いが伝わるように感じました。



表情やしぐさの大切さに気づきました。

薬学部薬学科1年 加藤友紀さん

短時間で何を話せば「自分」が伝わるのか……難しかったです。話すときの表情やしぐさ、目線の動きにも注意が必要だと気づきました。



時間を短縮できたので、次は内容を濃く。

薬学部薬学科1年 保科陽智さん

企業に対して「どんな貢献ができるか」、その理由も添えられました。2回目は時間も短縮できたので、次は内容を濃くしたいです。

Teacher's Comment

先生、いかがでしたか?



自己PR動画のメリットは「人となり」を見てもらえること。「親近感が持てそう」といった、一緒に働く上で大切な個性も伝えられます。ペアを組んで撮影したのは、「他己分析」ができるから。自分の魅力や改善点を客観的に指摘してもらいましょう。IT化が進むいま、採用に自己PR動画を採用入れる企業も現れてきています。新しい就活のかたちに挑戦を!

ワークショップの様子もUP!

Flairと帝京大学のインスタをチェック!

学生たちの「いま」を伝えるインスタがスタート! 今回のワークショップの様子のほか、帝京大学の注目イベントなど、さまざまな情報を発信しているのでお見逃しなく!

Flair @flair0629
帝京大学 @teikyo_university

Editor's Note

「働くってなんだろう?」。今号は、在学生や卒業生の方たちと一緒に、その疑問に対する答えを探る特集です。立場や職種によって、また経験によっても、その答えは違ってくるでしょう。また「そんなことは一生わからないよ」というのもひとつの答えかもしれません。それでも、自分の「好き」を見つけるために新しいチャレンジをしたり、自分にとって一番いい毎日の過ごし方を探したり、そんな日々の積み重ねから、「働く」が見えてくるのかもしれないと、今回いろんな人のいろんな働き方に触れて、感じました。どんな働き方・仕事であっても、みなさんがいま一生懸命に取り組んでいる活動や、楽しく充実した時間が、形になって、みなさんの素敵な将来につながることを願っています。

Flair
vol.108
December 2017 Winter
THE TEIKYO SELF

制作 Mo-Green
発行 TEIKYO UNIVERSITY

cover photograph
KENTARO OSHIO
KENJI NAKATA
cover illustration
JUNJI NAKAMURA

News

インスタ投稿キャンペーンがスタート。

帝京大学では、SNSアプリ「Instagram」を使った「インスタ投稿キャンペーン」を実施中。ゼミやサークル活動、各種イベントなど、「帝京大学らしさ」を感じられる写真を共通のハッシュタグ（#Tっぽい）をつけて投稿すると、優秀写真の投稿者は、豪華プレゼントがもらえる。



News

医学部の笠井健司さんが千葉県知事との意見交換会に出席。



8月17日、医学部医学科4年の笠井健司さんが森田健作千葉県知事との意見交換会に出席した。笠井さんは、卒業後に一定期間、千葉県知事が指定する医療機関へ勤務することにより、返還が免除される奨学金を受給している。笠井さんは地域医療に携わりたいと思った動機や奨学金制度の重要性について話し、森田千葉県知事からは「千葉県を土台に、世界に貢献する医師になってほしい」と激励の言葉があった。

Information

読者アンケートに答えて
プレゼントをもらおう!

『フレア』では読者アンケートを募集中です。前号の内容については保護者の方々からも『『フレア』はキャンパスの日常を知ることができるので、毎号楽しみにしています』『今回の記事で学長も共に走られていて親近感を感じました』といったご感想をいただきました。ありがとうございます! アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントを差し上げています。プレゼントは時期によって変わります。抽選で毎号5名程度に郵送予定です。アンケート「質問5」の回答欄に送付先住所および氏名を明記ください。



News

「アカウンティング・ストラテジー科」が
東京都大学等委託訓練講座に採択。

東京都が実施する大学等委託訓練講座に、帝京大学冲永総合研究所提案の「アカウンティング・ストラテジー科」が採択大学2校のうちの1校に選ばれ、12月から開講を予定している。東京都大学等委託訓練講座とは、求職者がこれまでの経験に加えて新たな知識・技術を3カ月で身につけ、再就職に役立てられる能力を開発するためのもの。当研究所では2011年度から委託を受け、これまで10以上の講座を開講してきた。

講師陣には大学教授、公認会計士のほか、企業の経理実務や管理部門業務に長年携わってきた専門家などを招いている。

Report

福岡医療技術学部が
「夢ナビライブ福岡会場」に参加。

10月21日、マリンメッセ福岡にて開催された「夢ナビライブ 福岡会場」に、福岡医療技術学部が参加した。

当日は大学の個別説明ブースや、さまざまな分野の大学教員が学問の魅力を3分に凝縮してプレゼンテーションする「夢ナビTALK」も同時開催。講義ライブも盛り上がり、これから学びたい学問を探る高校生・受験生や保護者の関心を集めた。

Report

理工系進学体験イベント
～エンジョイ! カガク!! ～を開催。

9月10日、宇都宮キャンパスで「理工系進学体験イベント～エンジョイ! カガク!!～」が開催された。「とちぎサイエンスらいおん」の行事として今年で12回目を迎えるこのイベントは、子どもたちに理工系の学びの楽しさを知ってもらうことにより「理科離れ」の解消につなげることを目的に実施されている。身近なものや最先端の科学を体験して楽しく学べる内容で、宇都宮キャンパスの各学科のほか、本企画に賛同した企業・団体からも協力・出展があり、参加者は小中高生から保護者まで幅広く、今回は約800名。来場者には各イベントに参加してもらい、楽しく学ぶ有意義な一日を過ごしてもらった。



Report

工学系クラブ『帝京フォーミュラプロジェクト』が全日本学生フォーミュラ大会に初参戦。



去る9月5日～9日に、宇都宮キャンパスの工学系クラブである「帝京フォーミュラプロジェクト」(以下TFP)が、静岡県小笠山総合運動公園ECOPA(袋井市)にて開催された「第15回全日本学生フォーミュラ大会」(主催:公益社団法人 自動車技術会)に初めて出場した。

同イベントは、実践的なものづくりの人材育成プログラムとして、2003年から開催されている大会。学生がチームを組んでマシンを構想・設計・製作し、加速・操縦性・耐久性などの走行性能に加え、車両コンセプト・設計・製造・コストやプレゼンテーションスキルに至るまで、ものづくりの総合力を競う。日本の自動車・バイク産業を支える企業・団体が、一丸となって支援していることも特徴のひとつだ。

TFPは限られた時間・予算の中、初めての経験で悪戦苦闘しつつも試行錯誤の末にマシンを完成させ、大会に挑んだ。その結果100項目を超える車検をクリアして走行審査に進むことができ、初出場・初走行を達成。惜しくも規定タイムに届かず、最終審査への出走は叶わなかったが、総合成績73位(全94チーム中)という結果で大会を終えることができた。

TFPのメンバーは他チームや現役エンジニアと交流し、来年の大会出場に向けて情報収集にも意欲的に活動していた。今後は大会にて好成績を残すという目標を叶えるとともに、工学的教育の発展に寄与することもめざす。

Sports

2018年の始まりは、箱根駅伝とラグビー全国大学選手権の応援に行こう。

10月14日、駅伝競走部(八王子キャンパス)が、立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園(東京都立川市)で行われた第94回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会にて10時間4分58秒で競技を終え、初の予選会1位で通過。本戦には、11年連続19回目の出場を決めた。

個人では畔上和弥さん(医療技術学部3年)が、日本人トップで7位の59分30秒という好成績を残しフィニッシュ。選手たちの快走に中野孝行監督は「夏合宿の成果が見えた。選手たちには、あともう1段ギアを上げる練習を積み重ね、お正月の本戦で勝負してもらいたい」との意気込みを語っ

ていた。

2018年1月2日～3日にかけて行われる箱根駅伝に加え、11月26日には、今年で第54回を迎える全国大学ラグビーフットボール選手権大会が開幕。昨年度も優勝の栄冠を手にしたラグビー部(八王子キャンパス)は、前人未到の9連覇に挑む。順調に勝ち進めば、準決勝は2018年1月2日、決勝は7日の14時より、秩父宮ラグビー場(港区北青山)にて開催。

どちらも、手に汗を握る戦い。大学日本一をかけて、日頃の成果を発揮すべく奮闘する帝京大学の仲間を応援に行こう。

自分だけの“好き”を見つけよう。



発行月:2017年12月(年4回発行) 発行:帝京大学本部広報課
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL:03-3964-4162 URL:www.teikyo-u.ac.jp
© 帝京大学 2017 禁・無断転載